

日本プライマリ・ケア連合学会 詳細事例/実践評価のルーブリック 2025年度版

※合格ラインと不合格ラインの違いは、「報告（まとめ方）が構造化されていること（報告の仕方について枠組みがあること）」です。実施されたことがまともなく書かれている場合は「基準未達成」となります。

	優（４） 標準よりも優れた実践 「合格ラインに加えて、より専門的に思考し実践している/記述がある」	合格ライン（２） 認定者として基準を満たす実践が出来ている	基準未到達（１）	
<b>必須領域 3事例</b>				
プライマリ・ケア看護師としての必須能力	慢性疾患管理	<input type="checkbox"/> 慢性の経過をたどる/長期ケアにつながる、患者教育や疾病管理が必要な疾患や状態を対象としている（疾患は特定しない。患者教育に限らず、多職種連携などで行った疾病管理や社会資源の調整、家族支援なども含む。） <input type="checkbox"/> 慢性疾患管理の目的が明確に記載されている <input type="checkbox"/> 診療ガイドライン（医学的根拠）に基づいた患者教育や疾病管理が具体的に記載されている <input type="checkbox"/> 行動変容の視点を盛り込んだ患者教育を行ったこと、または疾病管理を適切に行ったことが具体的に記載されている <input type="checkbox"/> 疾病管理や患者教育で自身がどのような役割を果たしたか具体的な記載がある	<input type="checkbox"/> 慢性の経過をたどる/長期ケアにつながる、患者教育や疾病管理が必要な疾患や状態を対象としている（疾患は特定しない。患者教育に限らず、多職種連携などで行った疾病管理や社会資源の調整、家族支援なども含む） <input type="checkbox"/> 慢性疾患管理の目的が記載されている <input type="checkbox"/> 診療ガイドライン（医学的根拠）に基づく患者教育や疾病管理を行っている <input type="checkbox"/> 行動変容の視点が盛り込まれた記載である（必須ではない） <input type="checkbox"/> 疾病管理や患者教育を実際に行っている（必須）	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> 慢性疾患を対象としていない <input type="checkbox"/> 慢性疾患管理の目的の記載がない <input type="checkbox"/> 診療ガイドライン（医学的根拠）に基づかない患者教育や疾病管理を行っている <input type="checkbox"/> 疾病管理や患者教育を実際には行っておらず、「今後、実施したい」と希望が書かれている <input type="checkbox"/> 慢性の経過をたどる/長期ケアにつながる、患者教育や疾病管理が必要な疾患や状態を対象としていない
	トリアージ（緊急性の判断）：生命危機の状況でなくても、患者の状態を判断して対応を検討したプロセスを記述する	<input type="checkbox"/> トリアージの目的が明確に記載されている <input type="checkbox"/> 臨床推論の結果に基づいて、患者が必要としている適切な医療に結び付けている具体的な記載がある <input type="checkbox"/> 患者の状態と臨床推論のプロセス、緊急重症度指標、重症度分類や対応の判断根拠などに基づき、勤務する保健医療現場の活用できる資源や機能を判断した上で、適切な対応を行ったことが具体的に記載されている <input type="checkbox"/> トリアージで自身がどのような役割を果たしたか具体的な記載がある	<input type="checkbox"/> トリアージの目的が記載されている <input type="checkbox"/> 適切な対応が行われた記載がある（自身が行ったことを記載） <input type="checkbox"/> その対応に至るまでの臨床推論のプロセスや判断の根拠が記載されている	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> トリアージの目的が記載されていない <input type="checkbox"/> 臨床推論・トリアージのプロセスが記載されていない <input type="checkbox"/> 勤務する医療現場の活用できる資源や機能と対応が不適切、または記載されていない
	家族志向のケア	<input type="checkbox"/> 家族を一つのケアユニットとしてとらえ、 <u>家族の相互作用を理解した上で、事例のアセスメントと対応が記載されている</u> <input type="checkbox"/> 家族図を記載している <input type="checkbox"/> アセスメントは <u>家族アセスメントモデルもしくは家族全体をとらえる枠組みを用いている</u> <input type="checkbox"/> 対応では家族や関係者の関係性や意見の調整が行われ、意思決定支援や問題解決支援を行ったことが具体的に記載されている	<input type="checkbox"/> 家族を一つのケアユニットとしてとらえているが、事例のアセスメントと対応が十分に記載されていない <input type="checkbox"/> 家族図を記載している <input type="checkbox"/> アセスメントは <u>家族全体をとらえる枠組みを用いたことが読み取れない</u> <input type="checkbox"/> 相談やサービス調整、指導事例であっても、家族全体の関係性を視野にいれ、関係性の調整や意思決定支援、問題解決支援が行われている。	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> 家族を一つのケアユニットとしてとらえていない <input type="checkbox"/> 家族図が記載されていない <input type="checkbox"/> 家族全体をとらえる枠組みを用いていない <input type="checkbox"/> 関係性を調整したことが読み取れない <input type="checkbox"/> 意思決定など対応について、自身の判断のみで行われている

小児ケア	<input type="checkbox"/> 小児期の患児について、発達段階を踏まえ、病歴、身体所見、家族を含む心理社会的な情報を収集、総合的にアセスメントし、医学的根拠に基づいて適切な看護ケア/疾病管理（患児や家族に対する指導を含む）を行ったことが具体的に記載されている <input type="checkbox"/> 虐待の事例の場合、虐待の観察項目とアセスメント、重症度判断、通報と連携について具体的に記載されている	<input type="checkbox"/> 小児期の患児について、左記の情報収集と対応（看護ケア/疾病管理）を行っているが、必要不可欠な情報が網羅されていない/総合的なアセスメントが十分なされていない/医学的根拠に基づかないケアが提供されている <input type="checkbox"/> 虐待の事例の場合、その観察やアセスメント、重症度判断、通報と連携について十分に記載されていない	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> 小児期の患児について、左記の情報収集ができておらず対応が十分でない <input type="checkbox"/> 必要な情報を得ていない <input type="checkbox"/> 総合的なアセスメントが行われていない <input type="checkbox"/> 医学的根拠に基づかないケアが提供されている <input type="checkbox"/> 虐待の事例の場合、その観察やアセスメントの結果が記載されていない/対応が不適切と考えられる
虚弱高齢者ケア	<input type="checkbox"/> 虚弱状態（フレイル状態）にある高齢者について、病歴、身体所見、家族を含む心理社会的な情報を収集、フレイルの状況やその原因を総合的にアセスメントし、医学的根拠に基づいて適切な看護ケア/疾病管理（患者や介護者に対する指導を含む）を行ったことが記載されている <input type="checkbox"/> 虐待の事例の場合、虐待の観察項目とアセスメント、重症度判断、通報と連携について具体的に記載されている	<input type="checkbox"/> 虚弱状態（フレイル状態）にある高齢者について、左記の情報収集と対応（看護ケア/疾病管理）を行っているが、必要不可欠な情報が網羅されていない/総合的なアセスメントや原因の探索が行われていない/医学的根拠に基づかないケアが提供されている <input type="checkbox"/> 虐待の事例の場合、観察やアセスメントや対応が行われているが、その観察やアセスメントについて十分に記載されていない	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> アセスメントが行われていない <input type="checkbox"/> 病歴や身体所見の情報がない <input type="checkbox"/> 介護者を含む心理社会的な情報がない <input type="checkbox"/> 実施した看護ケア/疾病管理を行ったことが記載されていない <input type="checkbox"/> 虐待の事例の場合、観察項目やアセスメントの結果が記載されていない/対応が不適切と考えられる
在宅ケア	<input type="checkbox"/> 在宅療養支援が必要となった患者・患児について、アセスメントの枠組み（家族介護力も含む）に基づいた情報収集、必要な看護ケアの判断、どのような看護ケアを行ったのか、その結果（症例報告の時点まで）について、看護過程の展開に沿って記載されている <input type="checkbox"/> 在宅ケアを担う家族や施設職員への支援、地域の社会資源との連携についても言及している	<input type="checkbox"/> アセスメントも行われ、適切な看護ケアが提供されいると考えられるが、枠組みに基づかないアセスメントで看護ケアの実施根拠の判断が困難、看護過程の展開について十分に記載されていない <input type="checkbox"/> 家族や施設職員への支援や地域の社会資源資源との連携が十分に記載されていない	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> アセスメントが記載されていない <input type="checkbox"/> 実施根拠のない看護ケアが提供されている（例えば、「医師の指示で行った」など） <input type="checkbox"/> 看護過程（アセスメント・看護判断/看護ケアプランの立案/実施・評価）が踏まれていない <input type="checkbox"/> 家族や施設職員への支援や地域の社会資源との連携の記載がない/とえられる <input type="checkbox"/> 実施せずに考察だけを行っている <input type="checkbox"/> 感想（ナラティブに起こったこと）を時系列に記載している（これが中心）
緩和ケア	<input type="checkbox"/> 緩和ケアの概念は広いが、特に終末期のプロセスにおいて、患者の全人的疼痛（トータルペイン）のアセスメント、生物・心理・社会的・スピリチュアルなアプローチ、かつ痛みマネジメントを含む症状マネジメントを行ったこと、その評価・考察が具体的に記載されている <input type="checkbox"/> 緩和ケアであることから、痛みのマネジメントなど症状マネジメント（アセスメントを行い、ガイドラインを活用）や全人的苦痛などへの対応が記載されている	<input type="checkbox"/> 症状のアセスメントと対応（マネジメント）について記載されているが、患者の全人的苦痛を総合的にアセスメントや実践について十分に記載されていない	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> 症状のアセスメント/判断が適切ではなく、対応（マネジメント）も不十分と判断される <input type="checkbox"/> 実施せずに考察だけを行っている <input type="checkbox"/> 感想（ナラティブに起こったこと）を時系列に記載している（これが中心） <input type="checkbox"/> 症状マネジメント（アセスメントを行い、ガイドラインを活用）や全人的苦痛などへの対応の記載がない
地域ケア	<input type="checkbox"/> プライマリ・ケアとして、地域住民（集団を対象とした）の健康状態の改善を目的とした活動である <input type="checkbox"/> 計画段階から自身が主体的に取り組んだ活動や地域の健康課題に対して取り組んだ内容について記載されている <input type="checkbox"/> 地域診断（またはそれに準じる地域のアセスメント）を行い、これに基づき、実施した内容に絞ってその展開と結果が具体的に記載されている	<input type="checkbox"/> プライマリ・ケアとして、地域住民（集団を対象とした）地域の健康課題に対してアプローチ/活動しているが、地域のアセスメントの記載が十分ではない <input type="checkbox"/> 活動の記載が活動の羅列に終わっているなど、実施したプロセスが十分に記載されていない	次のいずれかに該当する場合： <input type="checkbox"/> 活動が主体的な判断/主体的な実施ではなく、地域の他者（自治体など）が実施する活動に参加した程度である <input type="checkbox"/> 自身の医療機関が自身の施設の営業活動として実施した活動に限定されている等

災害支援	<p><input type="checkbox"/>地域の保健医療の専門職（構成員）として、地域の災害に関するアセスメントや防災計画の立案への参加、災害時における自身の医療機関の対応などについて、主体的に参加/計画立案/改善・準備をした内容について記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>地域又は自身の医療機関のトリアージ・システムの構築・改善と実践のテーマの場合、チームの設定、教育・訓練、地域の分析や対策の立案、地域や組織内の調整などを実施したことが具体的に記載されている</p>	<p><input type="checkbox"/>取り組んだ内容について記載されているが、地域や医療機関のアセスメント・構築した対策や仕組みなどが十分に記載されていない</p> <p><input type="checkbox"/>院内での話し合いは行われているが、システム構築に向けてのアクション（実施）が行われていない、もしくは医師に働きかけたところで終わっている</p>	<p>次のいずれかに該当する場合：</p> <p><input type="checkbox"/>主体的な参加・実施が読み取れない</p> <p><input type="checkbox"/>組織の指示に従って業務を実施した程度の内容である</p> <p><input type="checkbox"/>一般論の記載や想定した状況の記載で終わっている</p> <p><input type="checkbox"/>地域の活動においては、「地域の活動に業務として参加」した程度で、地域の関係者との話し合いや実施などに主体的に参加している記載がない</p>
アドバンスケアプランニング ※将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて意思決定を支援するプロセス	<p><input type="checkbox"/>対象は、患者・患児など個人に対してでもよいし、地域全体での活動でもよい</p> <p><input type="checkbox"/>アドバンスケアプランニングの概念に基づいて記載している</p> <p><input type="checkbox"/>個人の場合は、意思決定プロセスへの支援について具体的に記載されており、それが適切と判断される</p> <p><input type="checkbox"/>地域の場合は、地域の関係者とのように（例えば）プロジェクトを組み、どのように実施をしたのかを結果・評価を含めて具体的に記載されている</p>	<p><input type="checkbox"/>対象は、患者・患児など個人に対してでもよいし、地域全体での活動でもよい</p> <p><input type="checkbox"/>アドバンスケアプランニングの概念に基づいて、看取りという限定したプロセスだけではなく、ご本人・家族の「意思決定・意思表明支援」に繋がる継続的な関わりが記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>患者・家族の意思決定への支援や地域全体のプロジェクトに参加・実施したことが十分に記載されていない</p>	<p>次のいずれかに該当する場合：</p> <p><input type="checkbox"/>概念（アドバンスケアプランニング）のとらえ方が不十分である</p> <p><input type="checkbox"/>アドバンスケアプランニングの概念というよりは、看取りという限定したプロセスのみ記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>患者や家族に対する意思決定支援のプロセスが記載されていない（1度きりの治療選択の意思確認である）</p> <p><input type="checkbox"/>地域の活動においては、「地域の活動に業務として参加」した程度で、地域の関係者との話し合いや実施などに主体的に参加している記載がない</p>
健診含むヘルスプロモーション	<p><input type="checkbox"/>予防の視点に立ち、健診や予防接種、保健指導に取り組んだ活動が記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>テーマ（健診/予防接種/保健指導）が記載され、発達段階に基づいた必要な実施内容が科学的根拠に基づいて記載され、実施したプロセス・活動が具体的に記載されている</p> <p>※重症化予防や特定保健指導などの、個人に対する看護実践でもよい</p> <p>※企業に対して実施した上記内容でもよい</p> <p>※集団へのアプローチ（例：特定保健指導の実施について）の場合は、個の事例を追加する必要はない</p>	<p><input type="checkbox"/>テーマは記載しているが、実施したプロセスが科学的根拠が記載されていないなど、十分に記載されていない</p>	<p>次のいずれかに該当する場合：</p> <p><input type="checkbox"/>所属する医療機関での通常業務の実施が記載されているだけで、業務のプロセスや活動などが羅列されている</p> <p><input type="checkbox"/>科学的根拠に基づいて記載されていない</p>

<p>保育園/幼稚園/学校への関わり</p>	<p><input type="checkbox"/>実施する対象領域はいずれでもよく、それが記載されている（保育園/幼稚園/小学校/中学校/高等学校/大学）</p> <p><input type="checkbox"/>教員や養護教員や行政との連携を構築し、集団としての生徒の健康又は疾病を有する患児に対する学校や行政と連携した健康管理（虐待やメンタルヘルスも含む。）について記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>問題点や解決すべき課題を明記し、それに対してどのような活動を行ったのが記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>疾病管理/健康管理については、子供の成長発達や家族や養育者など環境要因も視野に入れてアセスメントし、科学的根拠に基づき、適切な疾病管理とともに総合的なアプローチが行われていると判断できる記載がある</p>	<p><input type="checkbox"/>実施する対象領域が記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>問題点・課題と実施した活動は記載されているが、子供の成長発達/環境要因のアセスメント/疾病管理のエビデンスが十分に記載されていない</p>	<p>次のいずれかに該当する場合：</p> <p><input type="checkbox"/>実施する対象領域が記載されていない</p> <p><input type="checkbox"/>子供の成長発達/環境要因のアセスメント/疾病管理のエビデンスが記載されていない</p> <p><input type="checkbox"/>実施した活動は記載されているが、それは医師の診療の補助であるなど、看護職としての主体的な活動が読み取れない</p>
<p>組織マネジメント</p>	<p><input type="checkbox"/>組織のマネジメントについて、取り組んだ内容を選択し、何に取り組んだのかを明記してから、長期的な視点で組織を見直して計画、実施、評価したことが記載されている（例えば、感染管理、リスクマネジメント・苦情処理、救急対応、インシデント・アクシデントマネジメント、魅力ある職場づくり、時間管理、質の向上）</p> <p><input type="checkbox"/>現状分析（組織分析など）→新たな方法の提案（科学的根拠に基づくことが望ましい）→実施・効果→評価とさらなる改善（PDCAサイクル）が具体的に記載されている（組織集団の変化については、変化理論に基づいてどのように変化させたのかを記載してもよい）</p>	<p><input type="checkbox"/>組織マネジメントについて、取り組んだ内容が記載されている</p> <p><input type="checkbox"/>取り組んだ後の変化は記載しているが、組織が抱える課題についての現状分析や新たな方法の提案根拠、実施効果などが十分に記載されていない</p>	<p>次のいずれかに該当する場合：</p> <p><input type="checkbox"/>組織マネジメントについて、取り組んだ内容の記載がない</p> <p><input type="checkbox"/>現状分析がない</p> <p><input type="checkbox"/>提案された内容が適切ではない（科学的根拠がない）</p> <p><input type="checkbox"/>効果が記載されていない。</p> <p><input type="checkbox"/>長期的な視点で組織を見直した取組ではない</p> <p><input type="checkbox"/>一度きりの業務改善ではない （例：コロナ対応で医療機関の動線をわけたなど）</p>
<p>倫理的問題への関わり</p>	<p><input type="checkbox"/>何が倫理的な問題/どこに倫理的ジレンマが起こっているのかを記載し、倫理的問題解決の方法に基づいて（例えば、倫理的問題の整理方法についての枠組みを使う）具体的に記述されている</p> <p><input type="checkbox"/>倫理的問題を多角的に浮き上がらせ、枠組みに基づいて解決に向けての議論を行っている（その議論のポイントが記載されている）。必ずしも解決に至った事例でなくてもよい。</p>	<p><input type="checkbox"/>倫理的な問題について提起し、問題解決を試みているが、倫理的問題の整理方法の枠組みを用いていない</p> <p><input type="checkbox"/>解決への導き方について議論が行われているが、受験者の価値観や意見に影響されていると考えられる</p>	<p>次のいずれかに該当する場合：</p> <p><input type="checkbox"/>倫理的な問題・倫理的ジレンマがどこに生じているのかが明確ではない</p> <p><input type="checkbox"/>解決に向けての議論が行われていない</p> <p><input type="checkbox"/>受験者の価値観や判断による結論を導いている</p>